

3. 報告（1）前回会議のふりかえり

■議題Ⅰ レイアウトに関する専門部会での協議内容の確認

【主な意見と回答】

①ふるさと教育について

- 教育課程を考える際に、学校の特色を生かす必要があるが、ふるさと養老をどうしていくのか。良さを知ったり、体験したり、未来に残すものは何か。各学校の伝統文化を踏まえながら、どうすることが望ましいかを考えていく必要がある。

→現在、教育部会において各学校の行事や特色等の整理を進めております。整理結果につきましては、とりまとめ後に本委員会へ報告し、ご協議いただきたいと考えております。

②新しい学校の教育ビジョン・整備の基本コンセプト等について

- 学校名や教育目標がはっきりしてくるとイメージしやすい。たたき台をつくりながら、目に見える形にしていくことが重要だと思った。
- 学校ビジョンを考える上では、養老町は人権教育を推進している地域なので、そこに触れていく必要がある。

→事務局において、これまでの検討を踏まえ、「新しい学校の教育ビジョン」及び「整備の基本コンセプト」の案をとりまとめました。

本日は、本案についてご協議いただき、内容の充実・進化を図りたいと考えております。

③地域との共用スペースについて

- 養老町では地域とともにある学校としてコミュニティスクールが実施されており、学校を核とした地域づくりもあわせて考える必要があると考えている。そのため、学校と地域が共有できるスペースが学校内にできると良い。
- 広い校区になったときに、地域に出ていくという考え方も必要だと思う。

→「地域とともにある学校」については、新しい学校の教育ビジョンにも位置付け、その実現に向けた検討を進めていきたいと考えております。また、地域との共用スペースの整備等については、今後の施設整備の検討において、重要な視点の一つとして取り入れながら具体的な在り方を検討してまいります。

3. 報告（3）校舎改修事例の視察について

■校舎改修事例（藍川北学園）の視察について

【目的】

本視察では、藍川北学園における校舎改修の取組を通じて、既存施設を活かした学習環境づくりや空間活用の工夫について学び、今後の学校づくりの参考とすることを目的としています。

あわせて、義務教育学校の開校のため校名や校歌を新たに検討されていることを踏まえ、検討の進め方や地域・関係者との関わり方などを伺い、今後の開校準備における取組の参考とします。

【視察先概要】

岐阜市立藍川北学園は、岐阜市で初めての義務教育学校として、旧藍川北中学校の校舎や体育館を改修して整備され、令和7年4月1日に開校しました。現在は1年生～9年生の計216名が通学しています。

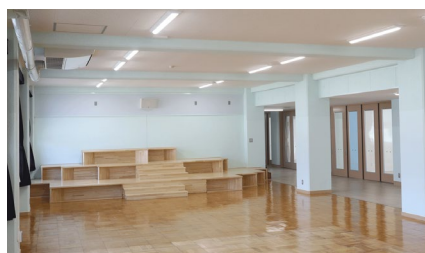
学校名	岐阜市立藍川北学園
所在	〒501-3107 岐阜県岐阜市加野2丁目23番地1号
校舎	鉄筋コンクリート造4階建て
児童生徒数（R7.5.1時点）	216人（（前期課程）127人（後期課程）89人）
学級数（R7.5.1時点）	14学級（（前期課程）8学級（後期課程）6学級）

※前期課程：小学生が該当、後期課程：中学生が該当

教室の両サイドには大きなホワイトボード



探求の部屋では自由な発想で学びを究めることができる

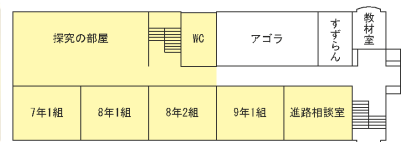


未来へいざなう 学び舎

未来へ

北斗
4F

後期ブロックゾーン



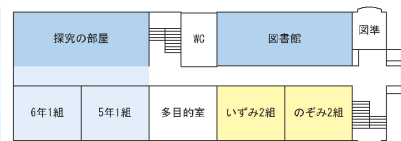
大空間・自由度の高い空間を
生かした学び
やってみたいがとことんできる
各階の教室



議論・対話を通じた学び

清流
3F

中期ブロックゾーン



壁面は全て自分たちのノート
(全面ホワイトボード)



しなやかな学びが広がる**3階**
「清流(探究)」水の流れるように
学びをしなやかに広げ深める



ペア学年での
読み聞かせ

大地
2F

前期ブロックゾーン



教室と廊下の
境目がない大空間

校務支援センター

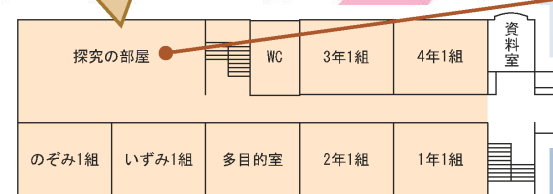


わくわく広場

わかあゆルーム(ランチルーム)

体験を通して豊かに学ぶ**2階**
「大地(体験)」大地に根を張り
ふるさとの体験を通じ学ぶ

義務教育の入口となる前期ブロック
4学年の楽しさとやさしさがあふれ、
異学年の関わりが自然に生まれる
空間を配置

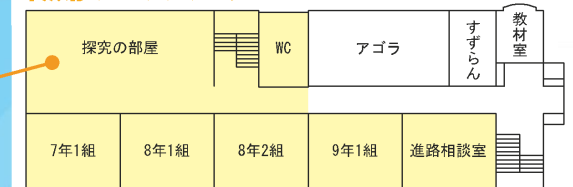


前期ブロックゾーン

「生きる」を学び未来を拓く**4階**
「北斗(創造)」志高く自分らしく
輝き生き方を築く

いつでもどこでも誰とでも、
多様な学び方にも
フレキシブルに対応できる空間
4階 探究の部屋

後期ブロックゾーン



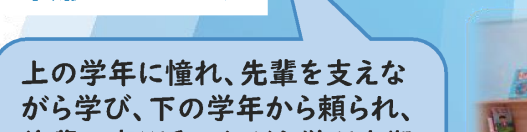
後期ブロックで創造的な活動を促進
義務教育の出口を常に意識できる教室配置

どの階からも行きやすい
いつでも本に触れ、没頭できる
**言葉の世界
(メディアセンター)**

好きな場所で本を読むことができ、
発表等、多様な活用ができる空間
3階 探究の部屋



メディアセンター



上の学年に憧れ、先輩を支えな
がら学び、下の学年から頼られ、
後輩に寄り添いながら学ぶ中期
ブロックを3階に配置

体験、発表、仲間と交流を充実
「わかあゆ学」を促進できる空間
2階 探究の部屋

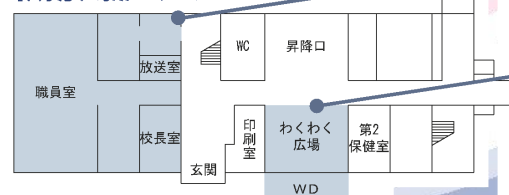


体験・ふれあいを通じた学び



藍川大家族が集う**1階**
「藍川(ふるさと)」～長良川～

校務支援センター



わくわく広場

わかあゆルーム(ランチルーム)

いつでも来室・相談しやすい
明るく安心できる空間
校務支援センター



壁面で情報共有

フリーアドレス
ですぐに相談

地域の方と笑顔で交流
わくわくが広がる体験いっぱい
わくわく広場

地域の名人に
教えてもらおう

休み時間に行くと
会えるかも

毎日が大家族!
異年齢と関わりあう場所
わかあゆルーム



大家族のように楽しむ給食

【視察日程】

日時：9/18(金) 9時～14時頃(お昼は給食を児童生徒の皆さんと一緒にいただきます。)

集合・解散場所：養老町役場

※養老町役場からバスで向かいます。(50分程度)

【参加者】

各部会から2名程度、参加者を募ります。

参加者が決定しましたら、**8月31日(月)まで**に事務局までご連絡をお願いします。

4. 協議事項 新しい学校の教育ビジョン・整備コンセプト(案)について

開校に向けて、これまでの検討内容や養老町教育大綱等を踏まえ、新しい学校の教育ビジョンと整備コンセプト(案)をとりまとめました。

■新しい学校の教育ビジョン(案)

～ひとりひとりが輝き、ふるさとを愛し、未来を創る子どもの育成～

新しい学校では、「ひとりひとりが輝く教育」を教育ビジョンの中心に据え、すべての子どもが安心して学び、自分のよさや可能性を伸ばすことができる学校づくりを進めてまいります。

子どもたちはそれぞれ異なる個性や能力、考え方をもっています。その違いを大切にしながら、一人一人の学びや成長を支え、誰もが「学校が楽しい」「自分にはよいところがある」と実感できる教育を目指します。また、学力の向上だけでなく、自ら考え、仲間と協働しながら課題を解決する力や、変化の激しい社会をたくましく生き抜く力を育ててまいります。

その土台になるのが人権教育です。人権教育は特別な教育活動ではなく、学校教育全体を通じて行うものです。互いの違いを認め合い、相手の立場にたって考え、思いやりをもって行動できる子どもを育てます。また、いじめや差別を許さず、誰もが安心して過ごせる学校づくりを進めることで、自分も相手も大切にできる心を育てていきます。

さらに、新しい学校では「ふるさと教育」を9年間の教育課程の軸に据え、小学校から中学校までの切れ目のない学びを進めていきます。ふるさと教育とは、地域の自然や歴史、文化、産業、人々の暮らしを学ぶだけではありません。地域の方々との交流や体験活動を通して、地域の魅力や課題を知り、「自分たちに何ができるか」を考え、行動する力を育てる学びです。9年間を通した系統的な学びを積み重ねることで、「ふるさとを知る」「ふるさとに貢献する」という子どもの成長を支えていきます。

また、学校再編を機に、これまで各学校が大切にしてきた伝統や特色ある取組を引き継ぎながら、より充実した教育活動を展開していきます。多様な仲間との出会いの中で協働する力を育み、互いに高め合える学習環境を整えることで、子どもたちの可能性をさらに広げていきます。

新しい学校は、子どもたちが「ここで学んでよかった」と感じ、保護者や地域の皆さまが「この学校を誇りに思う」と感じられる学校を目指します。そして、人権教育を基盤に、ひとりひとりが輝き、ふるさとを愛し、多様な人と協働しながら未来を切り拓く力を身に付けた子どもたちを育成してまいります。

この学校づくりは、学校だけでできるものではありません。保護者や地域の皆さまと力を合わせて、「地域とともにある学校」として、新しい時代にふさわしい魅力ある学校を創り上げていきたいと考えています。

■小学校再整備コンセプト(案)

「つなぐ ～人・地域・未来をつなぐ学校づくり」

「つなぐ」という言葉には、過去から現在、そして未来へと教育の価値を受け継ぎながら、新しい学校を創り上げていくという願いを込めています。

小学校の再編は、学校を統合することが目的ではありません。子どもたちがより良い環境の中で学び、多様な仲間と出会い、一人一人の可能性を伸ばしながら成長できる学校をつくることが目的です。そのために、「つなぐ」を合言葉に、次の五つのつながりを大切にします。

1. 子どもをつなぐ

子どもたちが多くの仲間と出会い、互いの違いを認め合い、支え合いながら学ぶことで、豊かな人間性や協働する力を育みます。一人一人が安心して学び、自分らしく輝くことのできる学校を目指します。

2. 学びをつなぐ

園から小学校、小学校から中学校へと切れ目のない学びを実現します。小中一貫教育を推進するとともに、子どもたちの発達段階に応じた系統的な教育を進め、確かな学力と豊かな心を育てます。

3. 地域をつなぐ

学校は地域の文化や歴史、人とのつながりを学ぶ場でもあります。ふるさと教育を充実させるとともに、地域の皆さんが学校教育に関わり、学校を核とした地域づくりを進めます。地域の宝を未来へ受け継ぐ学校を目指します。

4. 心をつなぐ

人権教育を教育活動の基盤に据え、一人一人の違いや個性を認め合い、誰もが安心して過ごせる学校づくりを進めます。子ども、教職員、保護者、地域が互いを尊重し、信で結ばれる学校を築いていきます。

5. 未来につなぐ

変化の激しい時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育むとともに、ICT の活用や探究的な学びを充実させます。そして、ふるさと養老町に誇りをもち、地域や社会の未来を担う人材を育成します。

「つなぐ」というコンセプトは、学校同士をつなぐだけでなく、人と人、学びと学び、地域と学校、そして過去から未来へと続く教育をつなぐという思いを表しています。新しい学校は、子どもたちの笑顔を中心に、保護者、地域、教職員がともにつながりながら、新しい時代にふさわしい学びを創造する学校を目指します。

5. その他

■今後の予定

第4回養老町立小学校再編準備委員会

日時：令和8年9月30日（水）19時から

場所：養老町役場4階大会議室

内容：（1）こども意見交換会の開催結果報告

（2）視察の結果報告

（3）専門部会の検討状況の報告